

建設 ICT 導入研究会

(第 1 回 設立総会)

2008 年 11 月 21 日 13:30～15:00

名古屋合同庁舎 1 号館

1 1 階 供用会議室

1. 主催者挨拶 [中部地方整備局 局長]
2. 設立趣旨、規約 説明
3. 建設 ICT 導入研究会 設立
 - ・ 会長挨拶 [研究会 会長]
 - ・ 会員紹介
 - ・ 会員証交付 (サテライト会員・プロジェクト会員 代表者)
4. 研究会
 - ① 建設 I C T 導入研究会の展望 [研究会 副会長]
 - ② 活動方針 (体制・実施方針・スケジュール) [事務局]
 - ③ モデル事業の実施について [事務局]
5. その他 (意見交換)

(配付資料)

- ・ 建設 I C T 導入研究会 設立主旨、規約
- ・ 会員名簿
- ・ 建設 I C T 導入研究会の展望
- ・ 建設 I C T 導入研究会の体制・実施方針・スケジュール
- ・ モデル事業一覧

建設ICT導入研究会 設立主旨

国土交通省では、建設産業における生産性の向上等のため、建設生産システムの効率化・高度化を目指し、CALS／ECの行動計画や情報化施工推進戦略等がとりまとめられてきた。

これらの構想の現場での実現に向け、中部地方整備局においては、計画から調査・設計・施工・維持管理そして修繕に至る一連の建設プロセスにおいて、ICT（情報通信技術）を活用し、効率化・高度化による生産性向上・行政サービス向上・現場技術力強化を図ることを目的として、受発注者及び開発者等の関係者が一体となり、技術普及・現場支援・技術研究を行う建設ICT導入研究会を設立する。

建設ICT導入研究会 規約

- (名称)
第1条 本会は、建設ICT導入研究会（以下、「研究会」という。）と称する。
- (目的)
第2条 研究会は、計画から調査・設計・施工・維持管理そして修繕に至る一連の建設プロセスにおいて、ICT（情報通信技術）を活用し、効率化・高度化による生産性向上・行政サービス向上・現場技術力強化を図ることを目的とする。
- (会員)
第3条 研究会は、プロジェクト会員及びサテライト会員で構成する。
2. プロジェクト会員は、建設ICTに関する技術普及、現場支援又は技術研究等研究会の目的を達成するために必要な取組を行うこととする。
3. サテライト会員は、以下の活動を行い、建設ICTに関する技術力の向上、現場での適用に努めることとする。
1) 研究会が主催する現場見学会、講習会、研修会等への参加
2) 建設ICTに関する意見照会等に参加
4. 研究会には、会長、副会長、技術顧問、マネジメント委員会、プロジェクトチーム、事務局を置く。
- (会長)
第4条 研究会の会長は、中部地方整備局長がこの任にあたる。
2. 会長は、会務を総括する。
3. 会長は、研究会の目的を達成するために必要と認めたときは、研究会に会員以外の者の出席を求めることができる。
- (副会長)
第5条 研究会の副会長は、中部地方整備局企画部長がこの任にあたる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在の場合に会長の代行をする。
- (技術顧問)
第6条 研究会には必要に応じて技術顧問を置き、技術的課題等について助言を受ける。
2. 技術顧問は会長が任命する。
- (マネジメント委員会)
第7条 研究会の評価組織として、マネジメント委員会を設置し、公正な立場から導入技術の評価及び研究会の運営評価を実施する。
2. マネジメント委員会の委員は、会長が任命する。
3. マネジメント委員会の委員は、職務の実施にあたり、プロジェクトチーム等の活動に随時参加できる。
4. マネジメント委員会の委員長は、委員の互選による。

(プロジェクトチーム)

第8条 プロジェクトチームは、技術普及チーム、現場支援チーム及び技術研究チームで構成する。

- プロジェクトチームの構成は、プロジェクト会員の希望を踏まえ、会長が決定する。
- プロジェクトチームの幹事は、事務局構成員より事務局長が決定する。
- プロジェクトチームのリーダーは、チーム内で決定する。
- プロジェクトチームのリーダーは、サブリーダーを指名することができる。
- 各チームは以下の活動を主に行うが、詳細は各チーム内において定めるものとする。

1) 技術普及チーム

- ・建設ICTの普及に関すること
- ・建設ICT技術者の育成に関すること
- ・建設ICTの広報に関すること

2) 現場支援チーム

- ・施工現場等における技術的指導に関すること
- ・施工現場等における現場検証に関すること

3) 技術研究チーム

- ・建設ICTに関わる各種基準・要領等の構築研究に関すること
- ・情報化施工技術の活用研究に関すること
- ・建設生産システムモデルの構築研究に関すること
- ・試行現場等から抽出された技術的課題への対応検討に関すること

- プロジェクトチームは総会等において活動状況の報告を行う。

(事務局)

第9条 研究会の事務局は、研究会の総務を行い、中部地方整備局職員、プロジェクト会員の代表者等により構成する。

- 事務局長は、中部地方整備局企画部技術調整管理官がこの任にあたる。
- 事務局の事務は、中部地方整備局企画部施工企画課が行う。
- 事務局は、プロジェクトチーム内の活動の情報共有・調整等を行い、またサテライト会員への情報提供を行う。
- 事務局構成員は、会長の了承を得て、事務局長が指名する。

(知的財産の取扱)

第10条 研究会の各活動により生み出された知的財産については、当該知的所有権の発案に関わった関係者の発明に対する貢献度によって、権利を所有することを原則とする。
2. なお、特許等出願及び権利取扱いに際しては、知的所有権の発案に関わった関係者及びマネジメント委員会で協議を行うこととする。

(機密の保持)

第11条 研究会参加者は、研究会活動を通じて入手した秘密を、事務局の承諾なしに第三者に漏らしてはならない。

(費用の負担)

第12条 研究会の各会員の活動に要する費用は、各会員が負担する。

(入会)

第13条 研究会への入会は、事務局長が入会審査を行い、会長が決定する。
2. 入会に際して、入会金、会費の徴収は行わない。

(退会)

第14条 会員が退会しようとする時は、その旨書面をもって会長に届け出ることとする。

(雑則)

第15条 この規約に定めるもののほか、研究会全体の活動に関し必要な事項は、会長が研究会に諮って定める。
2. マネジメント委員会、プロジェクトチーム、事務局の運営に関して必要な事項は、別途、それぞれにおいて定めることができる。

附則

本規約は平成20年11月21日より施行する。

建設ICT導入研究会 会員名簿

役員名簿

会長	中部地方整備局長	佐藤 直良
副会長	中部地方整備局 企画部長	安田 実
マネジメント委員会		
委員	名古屋工業大学大学院 教授	山本 幸司
委員	名城大学 名誉教授	鈴木 徳行
委員	国土交通省 大臣官房 技術調査課 課長補佐	山田 剛
委員	国土交通省 総合政策局 建設施工企画課 企画専門官	森下 博之
委員	国土技術総合研究所 高度情報化研究センター長	藤本 聡
委員	土木研究所 技術推進本部 主席研究員	山元 弘
委員	日本建設情報総合センター CALS／EC部長	松浦 弘
委員	日本建設機械化協会 専務理事	松隈 宣明
委員	中部地方整備局 技術調整管理官	工藤 隆
委員	中部地方整備局 中部技術事務所長	安田 佳哉
事務局長	中部地方整備局 技術調整管理官	工藤 隆

会員名簿

会 員 名	チーム種別		所在地
	普及	支援 研究	
プロジェクト会員			
＜団体等＞			
中部建設青年会議			
(社)中部建設協会	○	○	愛知
(財)日本建設情報総合センター	○	○	愛知
(社)日本建設機械化協会	○	—	東京
(株)日刊建設通信新聞社	○	○	東京
(財)先端建設技術センター	○	—	東京
(独)土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム	—	○	東京
国土技術政策総合研究所 高度情報化研究センター 情報基盤研究室	○	○	茨城
三重県公共事業運営室情報化グループ 伊藤 好幸	○	○	茨城
中部地方整備局	○	○	三重
＜建設企業＞			
(株)NIPPOコーポレーション 中部支店	○	○	愛知
(株)大林組	—	○	愛知
吉川建設(株)	—	○	長野
中井土木(株)	—	○	三重
(株)中村組	○	—	静岡
(株)熊谷組 名古屋支店	—	○	愛知
鹿島道路(株) 中部支店	○	○	愛知
西松建設(株)	—	○	東京
日本道路(株) 生産技術本部	○	○	東京
(株)加藤建設	—	○	愛知
(株)渡邊組	—	○	愛知
太啓建設(株)	○	—	愛知
中部土木(株)	○	—	愛知
鈴中工業(株)	—	—	愛知
大成建設(株)	—	○	愛知
	—	○	神奈川

会 員 名	チーム種別		所在地
	普及	支援 研究	
清水建設(株) 名古屋支店	○	○	愛知
(株)市川工務店	○	○	岐阜
前田建設工業(株)	○	○	愛知
大成ロテック(株)	○	○	東京
＜コンサルタント企業＞			
(株)建設技術研究所	○	○	東京
(株)近代設計	○	○	東京
アジア航測(株)	○	○	愛知
中部復建(株)	○	○	愛知
八千代エンジニアリング(株)	○	○	愛知
日本工営(株)	○	○	東京
(有)セクトコンサルタント	○	○	広島
＜開発企業等＞			
福井コンピュータ(株)	○	○	福井
(株)トヨミ	○	○	愛知
(株)小松製作所	○	○	愛知
(株)建設システム	○	○	静岡
ジオサーフ(株)	○	○	東京
(株)ニコントリプル	○	○	愛知
ライカジオシステムズ(株)	○	○	東京
西尾レントオール(株)	○	○	愛知
(株)ジェッセ	○	○	埼玉
(株)ティーネットジャパン	○	○	東京
(株)ビーイング	○	○	三重
(株)トプコン販売	○	○	東京
アイサンテックノロジー(株)	○	○	東京
(株)バントレー・システムズ	○	○	東京
サテライト会員			
＜団体等＞			
中日本高速道路(株)名古屋支社技術検査部	○	○	愛知
(社)全国特定法面保護協会 中部地方支部	○	○	愛知
三重県県土整備部公共事業運営室情報化グループ	○	○	三重
中部建設青年会議	○	○	愛知
三重県建設業協会	○	○	三重
＜建設企業＞			
(株)土生組	○	○	三重
(株)保坂組	○	○	静岡
(株)ヒメノ	○	○	愛知
(株)施設技術研究所	○	○	愛知
(株)丸徳鉄工	○	○	岐阜
大有建設(株)飛鳥機材センター	○	○	愛知
青協建設(株)	○	○	岐阜
公成建設(株)	○	○	京都
(株)藤本組	○	○	岐阜
杉山建設(株)	○	○	岐阜
松岡建設(株)	○	○	三重
釘ヶ浦建設(株)	○	○	静岡
(株)森岡組	○	○	三重
日本ロード・メンテナンス(株) 名古屋営業所	○	○	愛知
三井住建道路(株)	○	○	愛知

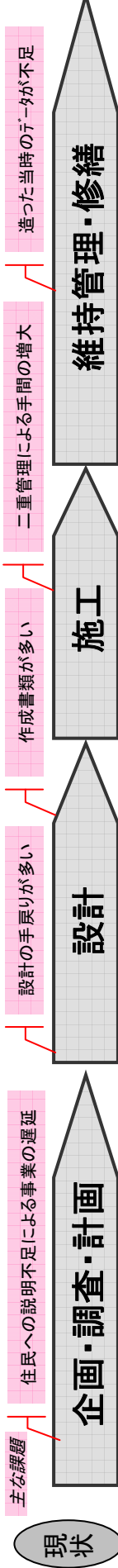
会 員 名	チ-ーム種別		所在地
	普及	支援 研究	
前田道路(株)中部支店	-	-	愛知
(株)加藤組	-	-	岐阜
(株)佐藤渡辺中部支店	-	-	愛知
川田工業(株)	-	-	愛知
大脇建設(株)	-	-	岐阜
日本道路(株) 中部支店	-	-	愛知
大成ロテック(株) 中部支社	-	-	愛知
北川工務(株)	-	-	岐阜
恵中建設(株)	-	-	岐阜
(株)吉川組	-	-	岐阜
(株)ガイアア-ートT・K中部支店	-	-	愛知
世紀東急工業(株)	-	-	愛知
(株)石井組	-	-	静岡
(株)アイケーデー	-	-	三重
(株)瀬古興業	-	-	岐阜
大林道路(株)中部支店	-	-	愛知
戸田建設(株)	-	-	愛知
山崎建設(株)	-	-	愛知
(株)間組	-	-	東京
(株)水野組	-	-	静岡
住田建設(株)	-	-	愛知
アイサワ工業(株) 名古屋支店	-	-	愛知
山田建設(株)	-	-	愛知
(株)土屋組	-	-	岐阜
岐建(株)	-	-	岐阜
河津建設(株)	-	-	静岡
イビデングリーントック(株)	-	-	岐阜
信藤建設(株)	-	-	三重
(株)吉川工務店	-	-	岐阜
吉田建設(株)	-	-	愛知
(株)新井組	-	-	岐阜
(株)山野建設	-	-	三重
大興建設(株)	-	-	愛知
(株)堀池組	-	-	三重
セントラル建設(株)	-	-	岐阜
小原建設(株)	-	-	愛知
中村土建(株)	-	-	三重
(株)井本組	-	-	三重
(株)田村組	-	-	三重
(株)長瀬土建	-	-	岐阜
日東工業(株)	-	-	岐阜
(株)松野組	-	-	岐阜
永井建設(株)	-	-	岐阜
(株)荻谷工務店	-	-	岐阜
中村建設(株)	-	-	三重
(株)梅田組	-	-	岐阜
金子工業(株)	-	-	岐阜
(株)所組	-	-	岐阜
ナガイ(株)	-	-	岐阜
(株)谷上組	-	-	岐阜
CF建設協業組合	-	-	岐阜

会 員 名	チ-ーム種別		所在地
	普及	支援 研究	
(株)宇佐美組	-	-	岐阜
高橋建設(株)	-	-	岐阜
(株)中田電気工事	-	-	岐阜
(株)蜘蛛電気	-	-	岐阜
内藤建設(株)	-	-	岐阜
日産工業(株)	-	-	岐阜
大山土木(株)	-	-	岐阜
曙開発(株)	-	-	岐阜
(株)水口土建	-	-	岐阜
板垣建設(株)	-	-	岐阜
三建産業(株)	-	-	岐阜
林本建設(株)	-	-	愛知
(株)ヨシキ	-	-	岐阜
(株)渡辺組	-	-	岐阜
西濃建設(株)	-	-	岐阜
(株)佐竹組	-	-	岐阜
協業組合H・C建設	-	-	岐阜
(株)久保田工務店	-	-	岐阜
(株)菅平土建	-	-	長野
アイトム建設(株)	-	-	三重
日本土建(株)	-	-	三重
朝日土木(株)	-	-	三重
伊勢土建工業(株)	-	-	三重
(株)矢野組	-	-	三重
高砂建設(株)	-	-	三重
(株)杉本組	-	-	三重
水谷建設(株)	-	-	三重
(株)服部組	-	-	三重
堀田建設(株)	-	-	三重
東海土建(株)	-	-	三重
(株)中村組	-	-	三重
(株)久志本組	-	-	三重
岡田工業(株)	-	-	三重
東邦地水(株)	-	-	三重
<コンサルタント企業>			
新日本技研(株)名古屋事務所			
<開発企業等>			愛知
富士通(株)			愛知
日本電気(株)			愛知
(株)ダイテック			愛知
(株)東芝 中部支社			愛知
キャタピラー-中日本(株) 東海営業部 山本 浩史			愛知
<個人応募者>			
小林 保			-
高木 茂樹			-
鳥原 正太郎			-
<地盤内職員>			
地方整備局内職員 10名			-
<その他>			
その他応募者 3名			-

会員数合計 = 178者
(平成20年11月19日現在)

建設生産システム改革 (モデル事業・研究会)

測量・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設プロセスにおいて、ICT(情報通信技術)を活用したモデルを実践し、生産システム全体での効率化・高度化を図り、現場に力点を移しつつ、行政サービス向上・生産性向上を実現する。



2008.11.21 設立総会

建設ICT導入研究会

- 一般公募によるメンバーで建設ICT導入の諸課題の研究、技術普及を目指す**
- 技術普及チーム**
 - 講習会等の開催や技術者育成プログラムの策定により、技術の普及を目指す
- 現場支援チーム**
 - 建設ICTモデル事業の技術的支援や現場指導、現場検証を行う
- 技術研究チーム**
 - 建設ICT導入の課題、技術基準等の研究、建設生産システム全体のモデルの研究を行う
- サテライト(一般)会員**
 - 建設ICTの習得、現場ニーズの把握

会員応募状況 (11.21)

プロジェクト	一般	計
51者	127者	178者

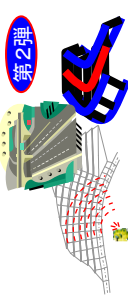
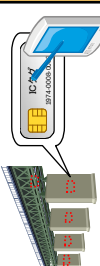
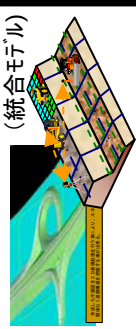
建設ICT活用 (各技術の統合 : 統合データベース, 建設ICTモデル)

◆ 建設生産システム改革 (建設生産管理・運用)

連携

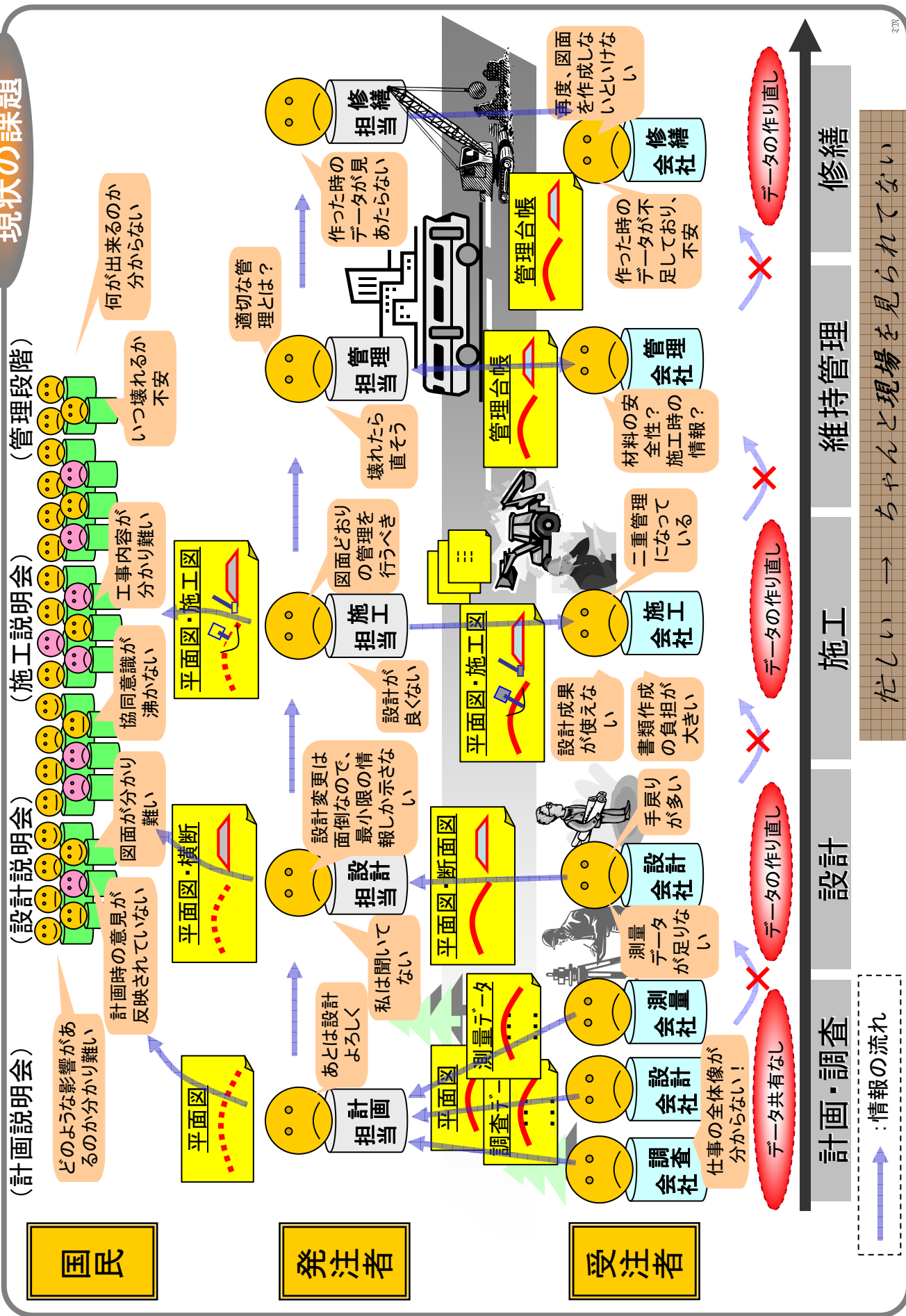
建設ICTモデル事業

[建設ICTを現場で実践し、適用を実証する。建設ICT導入研究会にて実施のフォローを行う]

情報化施工モデル事業 第1弾 中小企業対象 H20.11以降公告		情報共有モデル事業 第1弾		3次元測量設計モデル事業 第2弾		維持管理モデル事業 第2弾		建設生産モデル事業 (統合モデル)	
									
目的		目的		目的		目的		目的	
監督検査の効率化 施工管理の効率化 施工性・品質・安全向上		書類の簡素化 業務の効率化 監督検査の効率化		関係者協議の効率化 設計の効率化・高度化 (測量～施工)		維持管理の効率化 補修の効率化 (設計データの把握、 経年データ分析)		受発注者双方の業務効率化 視覚化による行政サービス向上 事業全体の迅速化 生産性向上	
研究課題		研究課題		研究課題		研究課題		研究課題	
○監督検査の効率化の 仕組 ○施工性向上の仕組 ○品質・安全への影響 ○施工データの活用策		○監督検査の改善方策 ○施工管理の改善方策 ○書類の簡素化方策 ○基準(内容・フォーマット 等)		○規覚化による業務の高度 化・効率化(求められる機能) ○測量・施工・維持管理との 連携 ○要素技術研究(ソフト関係) ○基準(設計・フォーマット等)		○維持管理のあり方 ○データ活用方法 ○システム構築 ○データ蓄積方策(ICタグ 活用等)		○各要素の統合 ○統合データベース構築 ○関係基準 ○技術者資格 ○建設生産システム(受発注者 の業務分担)	

(スケジュール案)	H20.10-12	H21. 1 - 3	H21. 4 - 6	H21. 7 - 9	H21. 11 - 12	～ H22. 12
モデル事業	順次公告	(第1弾)現場開始	(第2弾)手続開始	検証	適用結果	モデル終了。本格化
研究会	11月設立	モデル・課題研究	モデル試行・課題研究	モデル試行・基準検討	モデル検証・基準提唱	モデル構築・基準確定

現状の課題



目指す姿

建設生産システム全体を通して...

適正なコスト

スピードUP

品質向上

(計画説明会)

(設計説明会)

(施工説明会)

(管理段階)

国民

行政サービスの向上意識

発注者

パートナーシップの強化

受注者

前向きに意見を言ったくなる
分かり易い！
完成をイメージし易い
工事内容が分かり易い
まだまだ大丈夫なようだ。安心。
新しくなるんだ！

イメージ図・VR

イメージ図・VR

イメージ図

計画担当

設計担当

施工担当

管理担当

修繕担当

3次元イメージ

3次元イメージ・VR

3次元イメージ・VR

3次元イメージ・VR

3次元イメージ・VR

3次元レーザー測量

3次元設計データ

3次元施工データ

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

3次元施工管理システム

調査データ

設計会社

測量会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

設計会社

計画・調査

設計

施工

維持管理

修繕

ICTツール

ツールの活用による効率化 → 現場を見る

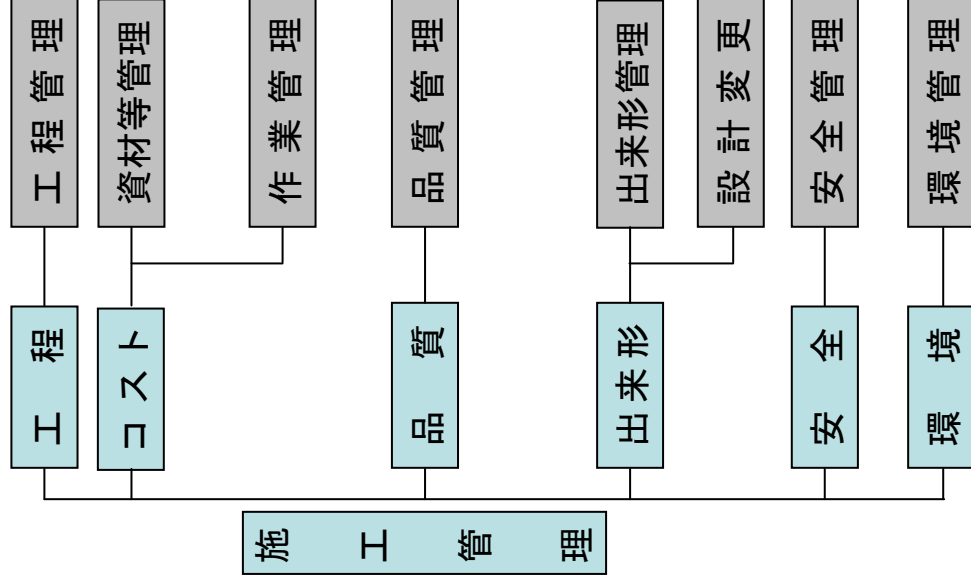
姿の現場を指す目



建設ICT導入による現場管理について

現場の改革

- リアルタイムな測定データ、施工管理データによる現場管理の実施
- 発注者が請負者より施工管理データをリアルタイムに入手し、監督・検査の一体的実施
- 事業執行の効率化を通じて、現場に力点を移し、現場技術力の強化を図る



- ① 情報共有システムでリアルタイムに現場管理(工程、施工状況、書類など)
発注者と請負者が汎用ソフトを使用して情報共有
- ② ICタグ等でトレーサビリティの確保(ICタグ、ICカードによる資機材、人の管理)

資 材 : 製造年月日、メーカー名、規格、品質証明
機 械 : メーカー規格、製造年月日、保有者名
作業員 : ICカードによる出入場、労務管理

- ③ 機械・人に発信機を設置してリアルタイムに把握し稼働状況の確認

機械・人 : 作業状況を把握して、歩掛調査、作業工程管理に活用
作 業 員 : 人の状況を把握して、作業員の区別、施工体制の整合

- ④ TS、GPS等使用して情報化施工による品質確保

締固め機械、敷均し機械等のリアルタイムなデータによる品質管理

- ⑤ 品質確保に向けた検査機器の活用とデータ共有 (リアルタイムに確認)

○生コン : 単位水量、温度等の測定管理 ○土 工 : 締固め密度測定(連続RI)
○アスファルト : 温度、密度等の測定管理 ○鉄筋構造物 : 非破壊による配筋かぶり、強度測定

- ⑥ TS等による出来形管理データの直接入手と活用

出来形データをリアルタイムに入手し出来形の評価

- ⑦ 3D-CADによる設計図、施工図、現場出来形管理と設計変更の自動化

PC上でビジュアルな完成状態の確認、使用数量の算出、配筋図と配筋状態の確認など

- ⑧ 機械、人に設置した発信機による機械、人の位置判断

クレーン類、締固め機械類等と作業人の位置確認、危険予報の発信等

- ⑨ 施工による周辺環境への影響を管理・低減

騒音、振動、CO2、排水等のデータ測定をリアルタイムに実施し環境管理

効果

・発注者、請負者の現場管理の効率化 ・工事書類のペーパーレス化 ・工事品質の向上 など

建設ICT導入研究会 全体概要

目的：建設プロセスにおいてICTを駆使し、効率化・高度化による生産性・行政サービスの向上、現場技術力の強化を図る

会長：中部地方整備局長

副会長：中部地方整備局企画部長

技術顧問：

マネジメント委員会

第三者的立場から導入技術の評価、研究会の運営評価を行う。

- 導入技術の評価
- 研究会の運営評価
- 研究会規約変更、プロジェクトメンバー加入の審査

- 名古屋工業大学大学院 山本 教授
- 名城大学 鈴木 名誉教授
- 国土交通省技術調査課 山田 課長補佐
- 国土交通省建設施工企画課 森下 企画専門官
- 国土技術政策総合研究所 藤本 高度情報化研究センター長
- 土木研究所 技術推進本部 山元 主席研究員
- 日本建設情報総合センター 松浦 CALS/SEC部長
- 日本建設機械化協会 松隈 専務理事
- 中部地方整備局 工藤 企画部技術調整管理官
- 中部地方整備局 安田 中部技術事務所長

事務局

整備局職員、各プロジェクトチームの代表者により構成し、導入研究会の全体運営を行う。

- 研究会の運営
- 各チームのとりまとめ
- 広報広聴

事務局長：中部地方整備局 企画部技術調整管理官

- 中部地方整備局
- 技術普及チーム代表者
- 現場支援チーム代表者
- 技術研究チーム代表者

プロジェクトチーム (取組方針案)

建設ICTに関する技術普及、現場支援、技術研究を実施し、チーム一丸となって目的の達成を目指す。

技術普及チーム

【普及検討】

- 建設ICT普及戦略の策定
- 建設ICT技術者の育成プログラム策定
- 講習会、現場員学会の開催
- 建設ICTのPR(建設ICT専用サイト、要素技術PR、会員Mail)

【ヘルプデスク】

- サテライト会員、施工現場等からの相談窓口

現場支援チーム

【現場支援】

- 情報化施工技術支援
- 施工データの管理及び活用支援
- 情報化施工による施工管理支援
- 建設ICTモデルの現場支援
- 情報化施工の現場検証
- 建設ICTツールの調達の仕組み構築

技術研究チーム

【3次元測量設計モデル検討】

- 視覚化による業務の高度化・効率化(求められる機能)検討
- 測量・施工・維持管理との連携検討
- 要素技術研究(ソフト関係)
- 基準(設計・フォーマット等)検討

【情報共有モデル検討】

- 監督検査の改善方策検討
- 書類の簡素化方策検討
- 施工管理の改善方策検討
- 基準(内容・フォーマット等)検討

【情報化施工モデル検討】

- 監督検査の効率化の仕組み検討
- 施工性向上の仕組み検討
- 品質・安全への影響検討
- 施工データの活用策検討

サテライト会員

建設ICTに関する技術向上、現場適用に努める。

- 建設ICTの習得
- 現場への積極的導入
- 建設ICTニーズの把握

建設ICT導入研究会（会員構成）

会員総数 178者（H20.11.21時点）

会長：中部地方整備局局長
副会長：中部地方整備局企画部長
技術顧問：

マネジメント委員	
第三者的立場から導入技術の評価、研究会の運営評価を行う。	
名古屋工業大学大学院 山本 教授	土木研究所技術推進本部 山元 主席研究員
名城大学 鈴木 名誉教授	日本建設情報総合センター 松浦 CALSIEC部長
国土交通省技術調査課 山田 課長補佐	日本建設機械化協会 松隈 専務理事
国土交通省建設施工企画課 森下 企画専門官	中部地方整備局 工務 技術調整管理官
国土技術政策総合研究所 藤本 高度情報化センター長	中部地方整備局 安田 中部技術事務所長



事務局	
整備局職員、各プロジェクトチームの代表者により構成し、導入研究会の全体運営を行う。	
事務局長：	
中部地方整備局 技術調整管理官	
中部地方整備局	現場支援チーム代表者
	技術普及チーム代表者
	現場支援チーム代表者

サテライト会員	
○建設ICTの習得 ○現場への積極的導入 ○建設ICTニーズの把握	
会員数：127	
建設企業：100	開発企業等：5
コンサルタント：1	その他：6
団体等：5	局内職員：10

プロジェクト会員

計 75者(延べ) 51者(重複除き)

技術普及チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部施工企画課
 講習会等の開催や技術者育成プログラムの策定により、技術の普及を目指す。

【普及検討WG】 講習会等の開催や技術者育成プログラムの策定、建設ICTのPR活動を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	(株)中村組	鹿島道路(株)	日本道路(株)	太管建設(株)
中部土木(株)	大成ロテック(株)	(株)建設技術研究所	アジア航測(株)	日本工営(株)
(株)トヨミ	(株)小松製作所	(株)建設システム	(株)ニコントリンブル	(株)ティーネットジャパン
(株)ビーイング	中部建設青年会議	(社)中部建設協会	(財)日本建設情報総合センター	(社)日本建設機械化協会
(株)日刊建設通信新聞社	(独)土木研究所	国土技術政策総合研究所	三重県公共事業推進部情報化グループ	中部地方整備局
			伊藤 好幸	

【ヘルプデスク】 サテライト会員、施工現場等からの相談窓口となる。

現場支援チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部工事品質調整官、中部技術事務所
 建設ICTモデル事業の技術的支援や現場指導、現場検証を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	(株)熊谷組	鹿島道路(株)	(株)加藤建設	(株)渡邊組
(株)市川工務店	(株)トヨミ	(株)建設システム	(株)ニコントリンブル	西尾レントオール(株)
(株)ティーネットジャパン	(株)ビーイング	(社)中部建設協会	(社)日本建設機械化協会	国土技術政策総合研究所
中部地方整備局				

技術研究チーム 代表幹事：中部地方整備局企画部技術管理課
 建設ICT導入の課題、技術基準等の研究、建設生産システム全体のモデル研究を行う。

【3次元測量・設計モデルWG】 3次元測量・設計技術について要素技術の研究や、基準(設計・フォーマット等)の研究を行う。
【情報化施工モデルWG】 情報化施工についての要素技術の研究や、有効活用方策の研究を行う。
【情報共有モデルWG】 情報共有による施工・監督・検査の改善方策や、各種基準等の研究を行う。

(株)NIPPOコーポレーション	株式会社 大林組	吉川建設(株)	中井土木(株)	(株)熊谷組
鹿島道路(株)	西松建設(株)	日本道路(株)	鈴木工業(株)	大成建設(株)
清水建設(株)	前田建設工業(株)	大成ロテック(株)	(株)建設技術研究所	(株)近代設計
アジア航測(株)	中部復建(株)	八千代エンジニアリング(株)	(有)セクトコンサルタント	福井コンピュータ(株)
(株)建設システム	ジオサーフ(株)	ライカジオシステムズ(株)	(株)ジェッセ	(株)ビーイング
(株)トプコン販売	アイサンテクノロジ(株)	(株)ベントレー・システムズ	(社)中部建設協会	(財)日本建設情報総合センター
(社)日本建設機械化協会	(財)先端建設技術センター	(独)土木研究所	国土技術政策総合研究所	伊藤 好幸
中部地方整備局				

●○基本スケジュール

- ・研究会の活動期間は、2年間を目標とする
《平成20年11月～平成22年12月まで》
- ・総会の開催は、年2回を予定
《春・秋》
- ・プロジェクト会議の開催は、年3回を予定し、

ICT(情報通信技術)を駆使し、効率的・効果的に活動を行う

(スケジュール案)	H20.10-12	H21.1-3	H21.4-6	H21.7-9	H21.11-12	～ H22.12
モデル事業	順次公告	(第1弾) 現場開始	(第2弾) 手続開始	現場検証	検証結果 モデル継続	モデル終了 以後、本格化☆
研究会	11月設立	普及活動 技術者研究 現場支援 モデル研究 課題研究	普及活動 技術者育成 現場支援・検証 モデル試行 課題研究	普及促進 技術者育成 現場支援・検証 モデル試行 基準検討	技術者育成 現場検証 モデル検証 基準提唱	モデル構築 基準確定 研究会終了☆

建設ICT(情報化施工)モデル工事一覧(平成20年11月21日現在の予定であり、工事名等変更の可能性あります)

工事名	事務所名	施工県	施工予定技術				公告日 (予定)	主な工事内容
			マシンガイ ダンス(コン トロール) (3D-MC)	ローラー軌 跡管理によ る品質管理	TS-GNSSに よる出来高 管理	BFIによる掘 削ガイダン ス技術		
平成20年度 豊橋BP小島道路建設工事	名四国道	愛知県	○	○	○	—	20年12月(予定)	工事延長 L=640m 掘削工、盛土工、補強土壁工ブレキャスト型擁壁工、RC橋 台、場所打杭
平成20年度 揖斐川大鳥居築堤工事	木曾川下流	三重県	○	○	○	—	20年12月(予定)	工事延長 L=1,500m 河川土工、掘削工、表土除去、盛土工、混合盛土、植栽工、附 帯道路工、構造物撤去、運搬工
平成20年度 23号三行南地区道路建設工事	三重河川国道	三重県	○	○	○	—	20年12月(予定)	工事延長 L=600m 掘削工、盛土工、重力式擁壁、排水工、中勢用水跨道橋下部 工
平成20年度 富士山凡夫沈砂地工事	富士砂防	静岡県	—	—	○	○	20年12月(予定)	沈砂地掘削工 42,000m ³
平成20年度 北勢BPさざらい舗装工事	北勢国道	三重県	○	—	—	—	20年12月(予定)	工事延長 L=830m 舗装工、鏡面防水工、区画線工
平成20年度 横山ダム宮貝戸地区土砂掘削工事	横山ダム	岐阜県	—	—	○	○	21年2月(予定)	土砂掘削・運搬工 50,000m ³